

町会長連合会だより

平成25年2月15日

第9号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集委員会

唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

宮城県石巻市を訪ねました

震災とは、防災とは何なのか？

私達はその意味を考えなければなりません

震災ボランティア

7月10日、我々町会長120名を出迎えてくれたのは、石巻震災ボランティアの3名の方でした。元々は観光ボランティアとして活動していた皆さんが、震災を伝える「語り部」となることを選んだことには、相当の苦悩と葛藤があったことと思います。

伝えなければならぬ

被災地を見世物にすることへの批判や道徳心に苦しまれたとのことでしたが、この千年に二度とも言われる地震と災害を風化させてはいけない、後世に伝えることが大事だと震災ボランティアにすることを決意されたと話されました。

私達はこの震災をどう考え、何をすれば良いのか

我々は目の前に広がった風景にテレビで見ていた状況とは違った感覚を受けました。それは、ただ惨状を間近に見ただけではなく、もし自分の身の回りで起こったなら私達は一体何ができるのか、何をすれば良いのかと現実が押し寄せて来たからだと思います。

あなとらないうい、備えないうい

ボランティアの方は、旧北上川の氾濫を歴史上経験していたため、海からの津波には防波堤があるため安心して話されていた

ました。佐野市は古来より天災が少ないところだと、とかく私達は良い方向に考えが傾きがちです。決して絶対などあり得ない！と肝に銘じ、災害時の行動については日頃より、十分な備えと準備が必要だと痛感しました。

防災を意識した仕組みづくり

被災地を訪れた世界の地震国の関係者が、学校での避難訓練や家族での防災意識の共有と意識付けを重要視しているという新聞記事の後目にしました。最少単位である家族での申し合わせをぜひ行っていたきたいと考えます。

現在、佐野市における自主防災組織の数は118です。行政も組織の設立に今後力を入れていくとのこと。既にある組織もこれからの組織ももう一度、十分に話し合い、考えた行動計画を作ることを切に望みます。

近所の底力

これからの地域のあり方として「自助」「共助」「公助」が叫ばれています。

各町会においては、この「共助」について考えていく必要があるのではないかと思います。今、社会において求められるものは、現代人が見失っている「身近な人との繋がり・絆」なのだと考えます。

新潟県燕市自治会連合会と 意見交換会を実施しました

初の視察受入れ

10月25日、新市となって初の視察受入れとなる新潟県燕市自治会連合会との意見交換会を勤労者会館で実施しました。

来佐した鈴木力燕市長、田邊一郎自治会連合会会長をはじめとする計42名の燕市の方々と、2時間に及ぶ白熱した意見交換を行いました。



▲燕市 鈴木力市長

金属洋食器のまち燕

燕市は、平成18年3月に燕市、吉田町、分水町が合併し

てできた新市です。北陸自動車道三条燕インターチェンジと上越新幹線三条駅といった高速交通機関があり、金属洋食器の国内シェアは9割という人口8万3千人のまちです。

女性の自治会活動

燕市の自治会長205名の内女性の自治会長は2名（佐野市は1名）、その一人竹井自治会長は「最初は、お手伝いをするつもりで引き受けました。先日自治会内の高齢者の容体が悪くなり、一番に私が掛り救急車を呼ぶことができました。信



▲竹井自治会長

頼されていることに喜びを感じました。」と話され、私達も町会長としての誇りを持つことの重要さを改めて感じました。

観光客を集めたい

鈴木市長をはじめ燕市の方々は、弥彦と寺泊の中間に位置するため観光客の通過点にあるという悩みを持たれていました。当市の「町会お宝・自慢調査」など行政と町会・市民が一体となって取り組むことの必要性を感じられたようでした。

悩みの共感

両市の自治会長は、社会生活の変化や自治会長の仕事の多さによる後任の成り手不足、広報の配布や募金・会費の徴収など自治会に依頼される事業と自治会本来の事業、住民の理解など共通の悩みを抱えていました。



「唐沢山城跡国指定化への取組みについて」 役員研修会を実施



研修にあたって

11月12日、中央公民館会議室において佐野市生涯学習課文化財保護係長の出居博氏を講師として招き、市が進めている唐沢山城跡の国指定化に向けての取り組みや歴史、特色などについて話を伺いました。

地域を預かる町会長としては、行政の動きや情報を把握することは重要な任務と考えています。市を象徴する唐沢山の城跡が国の指定を受けることで、どのような効果や影響があるのかを知っておく必要性を感じ今回の研修会を実施しました。

唐沢山城跡の評価

唐沢山城跡を有する唐沢山周辺は豊かな自然に恵まれ、多くの人々に親しまれていること、

また、山頂から山麓まで広い範囲で城郭遺構が良好に残されているため、全国的にも高い評価をもらっているとのことでした。文化庁及び栃木県と協議をし、平成20年度より5カ年計画で調査事業を開始しています。

唐沢山城の歴史

唐沢山城は、それ以前に存在した清水城、以降の佐野城築城への歴史の変遷の中にあり、経済の発展による街道や河川物流の進化などと深く関係があり、『佐野らしさの継承』という重要な位置付けがあるということでした。

今後の展望

平成25年度中に文化庁に申請予定で、受諾されれば『関東最大の文化財』になるという驚きの説明を受けました。私達は、この貴重な遺跡を今まで以上に大切に思い、良好な状態で後世に伝えていく使命があると感じ研修会を終えました。



永年在職の町会長・町会役員の方々が 表彰を受けられました

11月2日全国自治会連合会姫路大会（兵庫県姫路市民会館）、1月10日佐野市町会長新春祝賀会（佐野市文化会館）、2月1日栃木県自治会連合会会長研修大会（日光市今市文化会館）において、長年にわたる町会活動や地域の社会福祉向上に貢献された方々が表彰を受けられました。（順に、氏名と町会名）

【全国自治会連合会会長表彰】

篠崎芳朋 下多田

【栃木県自治会活動功労者知事表彰】

川田文次 亀井町

【栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰】

【佐野市町会長連合会永年在職町会長10年表彰】

亀田照藏 天明町
上岡良雄 浅沼町
篠崎芳朋 下多田
川久保明 山越

【佐野市町会長連合会永年在職町会長5年表彰】

大畑秀明 久保町



【佐野市町会長連合会永年在職町会役員表彰】

田村 修 天神町
磯貝勇次 伊勢山町
安田公一 堀米町（七区）
川嶋一雄 浅沼町
新川秀雄 山越

—敬称略—

篠崎連合会会長が 全国自治会連合会 会長表彰を受賞

全国自治会連合会姫路大会において、佐野市町会長連合会及び栃木県自治会連合会役員を歴任し、地域活動の推進と住民自治発展に寄与したことが称えられました。

篠崎会長…今年度は全国・県・市と表彰をいただき身に余る思いです。今後も地域に根付いた活動をひたむきに行いたいと思っています。



川田亀井町会長が 栃木県自治会活動功労者 知事表彰を受賞

栃木県自治会連合会会長研修大会において、20年以上にわたる町会の維持・発展活動への多大なる功績を称えられ、栃木県知事より表彰されました。

川田町会長…私がこの表彰をいただけたのは、地元町会の方々や役員の方々の協力があつたからだと思っています。地域のためにこれからも努力したいと考えています。



平成24年度 佐野市町会長連合会 事業経過と予定

- | | |
|-------|----------------------|
| 5/11 | 第1回理事会 |
| 5/18 | 通常総会 |
| 5/29 | 全市一斉清掃 |
| 6/11 | 第2回理事会 |
| 6/29 | 栃木県自治会連合会総会 |
| 7/10 | 管外視察研修会 |
| 8/15 | 町会長だより「からさわ」第8号発行 |
| 10/4 | 第3回理事会 |
| 10/25 | 新潟県燕市自治会連合会視察受入れ |
| 11/2 | 全国自治会連合会姫路大会 |
| 11/12 | 役員研修会「唐沢山城跡国指定化について」 |
| 11/28 | 第1回市長との懇談会 |
| 12/19 | 第4回理事会 |
| 1/10 | 新春祝賀会（永年町会長・町会役員表彰） |
| 2/1 | 栃木県自治会連合会会長研修大会 |
| 2/4 | 第2回市長との懇談会 |
| 2/14 | 栃木県自治会連合会県南ブロック会議 |
| 2/15 | 町会長だより「からさわ」第9号発行 |
| 3月 | 第5回理事会 |

町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。

- **安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
- **親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力をとおして子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
- **環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動をとおしての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
- **地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの情報を回覧板や広報の配布を通して、生活に必要な情報を提供しています。災害時などの緊急時においても有効的な手段であると言われています。

岡部市長と町会長の懇談会を開催

～葛生庁舎跡地利用や地域の活性化について討論～

11月28日、葛生あくとプラザ小ホールにおいて葛生・常盤・氷室地区の町会長23名が岡部市長との懇談会を行いました。地域の代表として、市民生活における様々な問題や課題に関する17の議題が話し合われました。

なお市長との懇談会は2カ年計画で、来年度まで継続して全地区で実施する予定です。



葛生庁舎の活用について

Q 葛生庁舎の活用については、地元からの請願書が提出されています。周辺には文化施設や商業施設もあり、地域コミュニティの中心に位置します。一刻も早い活用を望みます。

A 葛生庁舎の解体後の跡地利用に関しては、地域の皆様に大変心配をお掛けしています。現在、検討委員会を設け、設置する行政機能や規模、経費など検討しています。今後、計画案をまとめていく中で市民の皆様にご説明させていただきます。

小中学校の統廃合について

Q 学校の適正配置ということで地域の小学校の統廃合の心配がありますが、小規模校に対する考えをお聞きたい。

A 市内の小中学校の児童生徒は少子化の影響等により減少しています。現在、望ましい学校のあり方について外部の有識者による検討を行っています。また、保護者の皆様や全教職員へのアンケートも実施しました。今後多角的な見地から学校の適正配置に関する計画を策定します。

防犯灯のLED化について

Q 町会予算における、防犯灯と街路灯の修理・保全等の維持管理費が占める割合は大きいのです。LED化により少しでも維持費を抑えられれば助かります。近隣市でも実施しているようなので是非とも検討してほしい。

A 防犯灯に関しましては、現在は佐野市防犯協会の事業として、防犯協会が設置し、電気料金を町会と折半、管理を町会にお願いしています。9月の電気料の値上げ等町会の負担が大きい現状を踏まえ、効率的な防犯灯LEDの導入に向けて、検討を進めています。

地域の活性化について

Q (複数の町会長より) 少子化高齢化による田畑の荒廃と獣害被害、家屋の無人化と防火防災の不安、地域の行事やつながりへの支障など生活の不安が増しています。地域の活性化に向けた対策をお願いしたい。

A 中山間区域の皆様の生活の安心・安全のため、またコミュニティを維持していけるよう、雇用の確保、少子化対策に取り組んでおります。地域の皆様にもご意見を賜り、効果的な対策について、今後検討してまいりたいと考えています。

編集後記

寒気の厳しい年明けとなりましたが、会報「からさわ」第9号が皆様のお手元に届く頃には、梅花も開き、香しき早春の風も吹き始めていること存じます。ご清祥の年を心から念じます。

年頭のある紙面で「二人は万人のために」万人は一人のために」との掲載記事に心惹かれました。古代ゲルマン人の船を基点とした生活から生まれた伝えであり、日本へは福沢諭吉により紹介された由ですが、私達の町会活動にとりましても相応しい言葉ではないかと感じ入りました。人間は生きていく限り問題から逃れ得ないと説く学者もおりますが、お互いに巡り合わせたご縁を大切にして寄り合いながら「絆」を更に深めて生きていける一人であり、そういう新しい年であることを願っております。(石田記)

発行者 佐野市町会長連合会

〒007-0850

栃木県佐野市電井町26558-1

佐野市役所南飯庁舎1階

〒02833-2013 0005

発行責任者

篠崎芳朋

編集委員長

石田清純

編集委員

島田一男

上岡良雄

清水季則

飯田明生

大屋吉久

佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています